



関西大学 客員教授講演会

12月14日(木)



千里山キャンパス
第1学舎2号館
B201教室

10:40~12:10

**申込
不要**

物語が生命を帯びるとき 小説から演劇へ



作家、大阪芸術大学教授
大阪市博物館機構理事

玉岡 かおる

プロフィール

神戸女学院大学卒業。平成元年、神戸文学賞受賞作『夢食い魚のブルー・グッドバイ』（新潮社）で文壇デビュー、15万部のベストセラーとなる。以降、年に1冊のペースで作品を送り出し、著書多数。舞台化、TVドラマ化された『お家さん』（新潮社）で第25回織田作之助賞受賞。最新刊『帆神北前船を馳せた男・工楽松右衛門』（新潮社）で第41回 新田次郎文学賞・第16回舟橋聖一賞W受賞。行政でも理事等を歴任、'20年 '21年と連続で文部科学大臣表彰を受ける。

近著『姫君の賦—千姫流—』（PHP研究所）は作曲家池辺晋一郎氏によってオペラ化され、観世流シテ方十世片山九郎右衛門氏のために書き下ろした新作能『媽祖』が能舞台と劇場とで上演されるなど演劇にも創作の場を広げている。

※来場の際は公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ：関西大学学長室学長課 06-6368-1121(代表)